



*本プレスリリースは、米国カリフォルニア州で現地時間 2024 年 3 月 5 日に発表されたプレスリリースの抄訳版です。原文は[こちら](#)をご参照ください。

プレスリリース
報道関係各位

2024 年 3 月 6 日
株式会社 Box Japan

Box、Microsoft とのコラボレーションを強化し Azure OpenAI Service との新たな連携を発表 Enterprise Plus プランの顧客向けに Box AI の提供を開始

コンテンツクラウドをリードする Box, Inc. (NYSE:BOX) は本日、高度な大規模言語モデルを Box AI にもたらす、Microsoft Azure OpenAI Service との新しい連携を発表しました。今回の Azure OpenAI Service との連携により、Box と Microsoft のセキュリティ、プライバシー、コンプライアンスにおけるエンタープライズグレードの基準を画期的なテクノロジーに適用した、世界で最も先進的な AI モデルを活用することができます。また、本日より Enterprise Plus プランのお客様向けに、Box AI の一般提供が開始されることも発表しました。

Box の最高技術責任者であるベン・クス (Ben Kus) は、次のように述べています。「生成 AI は企業にとってはまだ新しい技術ですが、Box 上のコンテンツにこの技術を活用したいと考えているお客様からは大きな期待が寄せられています。Microsoft とのパートナーシップは 10 年以上にわたり、クラウドやモバイルコンピューティングなどのこれまでのテクノロジーの変化を通じてイノベーションを加速させてきました。昨今の AI の新時代において、データセキュリティ、プライバシー、コンプライアンス、ガバナンスを損なうことなく企業向けに AI を提供するためにパートナーシップを拡大しています。」

Azure OpenAI Service 連携

[Box AI の原則](#)に基づき、Box AI は中立的なプラットフォームのフレームワークを構築しているため、今日最も強力な大規模言語モデルと連携することが可能です。Microsoft が提供する Azure OpenAI Service と連携することで、Box は最も優れたインテリジェンスモデルをコンテンツクラウドに採用し、エンタープライズグレードの AI をさらに進化させます。Microsoft と Box は、FINRA や GxP、FedRAMP などの厳格なコンプライアンス要件を満たすための支援をしています。本日の発表をもって、規制の厳しい業界においても、以下のような新たなユースケースに AI を活用できるよう取り組みます。



- **金融サービス分野の企業**は、市場動向、経済指標、過去の財務データを含む Box 内のレポートからインサイトを引き出し、予測や潜在的なリスクを明示した重要な調査結果の要約を提供することができます。
- **ライフサイエンス分野の企業**は、臨床試験データから情報を取得し、膨大なデータセットの分析を迅速化することで、臨床試験の結果をより包括的かつ効率的に理解することができます。
- **公共機関**は、有権者からの膨大なフィードバックや政策調査から貴重なインサイトを得ることができます。エビデンスに基づいた意思決定や政策立案を導くことができます。これは AI 活用に関するバイデン大統領の指針に合致しています。
- **保険会社**は、クレームレポートから重要な情報を見つけることで効率を高め、対応時間を短縮し、当事者双方に円滑な体験を提供することができます。
- **法律事務所**は、複雑な法律文書内の重要な用語、条項、関連情報を迅速に特定し、法律調査に必要な時間と労力を大幅に削減することができます。案件に対してより戦略的な要素に集中しやすくなります。

Microsoft の AI プラットフォーム担当コーポレートバイスプレジデントであるジョン・モンゴメリー（John Montgomery）氏は、次のように述べています。

「生成 AI が急速な勢いで革新を見せている今、私たちはあらゆる規模の組織が信頼できるテクノロジーを提供することに全力を注いでいます。今回、Box が Azure OpenAI Service を活用し、コンテンツクラウド Box をさらに進化させることができることをとても嬉しく思います。Box とのコラボレーションは、コンテンツの可能性を最大限に引き出すために、企業に安全で信頼できるソリューションを提供するという両社共通のコミットメントを反映するものです。」

日本マイクロソフト株式会社のパートナー事業本部 ISV ビジネス統括本部 ISV パートナー本部長である清水 豊 氏は、次のように述べています。

「日本においても長年のパートナーである Box 様とともに、Azure OpenAI Service との連携を通じた新たな働き方を提案できることを嬉しく思います。お客様から生成 AI による業務変革への期待のお声をいただく一方で、企業の重要な資産であるコンテンツの安全な活用に対するニーズが高まっています。この度の Box 様との連携強化により、さらに信頼できるソリューションを提供できることを期待しています。」

Box AI、本日より一般提供開始

Box AI は、115,000 社以上の企業がすでに重要なビジネスコンテンツを安全に保管し共有するコンテンツクラウド Box に、生成 AI の力を活用した AI の基礎モデルを搭載します。ベータ版リリース以来、数千社の企業が Box AI を活用し、社内の文書から必要な情報を簡単に抽出したり、自動的に新しいコンテンツを生成したり、コンテンツから即座にインサイトを得ることで働き方の変革やビジネスプロセスの加速化に取り組んでいます。



今では:

- **投資アドバイザー**は、Box AI を活用して IR (Investor Relations) の詳細な文書を素早く分析し、資産運用や市場の最新情報に関する意思決定に役立てることができます。
- **臨床研究者**は、Box AI を使って膨大な臨床試験を要約し、より迅速に重要な知見を引き出しています。
- **プロダクトマーケティングマネージャー**は、Box AI を使ってブログや LinkedIn、その他のソーシャル投稿の形式に沿って、柔軟で編集可能なコンテンツを素早く生成しています。
- **人事の責任者**は、社員が必要とする答えを見つけるために、イントラネット上のコンテンツ、会社のポリシーや社員向けハンドブックなど多くの機密文書を検索するために Box AI を使用しています。
- **非営利団体のアウトリーチスペシャリスト**は、Box AI を使って効率的に広報資料を作成し、寄付者のエンゲージメントの確認やデータ分析を行っています。

Marx|Okubo Associates でアシスタントバイスプレジデントを務めるマット・ホーイ (Matt Hoey) 氏は、次のように述べています。

「少し前までは、デジタル変革を取り入れることがビジネス上不可欠であり、レガシーなワークフローやプロセスをクラウドコンテンツプラットフォームに取り込むことで、どこからでも重要なビジネス情報へのアクセスやコラボレーションが可能になり、コンテンツを安全かつシームレスに共有できるのだと皆が話していました。この分野のリーダーとして、私たちは自らの変革を実現するため Box を選択しました。当時は気付きませんでした。これは予期しなかった世界的パンデミックでも事業継続性を確保するうえで重要な決定となりました。「Box AI」も同様に、私たちの技術基盤へ大きな付加価値をもたらすものだと考えています。生成 AI が将来私たちの生活をどう変えていくのか、すべてはわからないかもしれませんが、Box の顧客であるというだけで AI の進歩というロケット船に乗ることができるのです。」

Microsoft 365 と Box の連携

Box は過去 10 年以上にわたり、両社のお客様に対して生産性とコラボレーションを高めるために Microsoft 365 や Teams との連携機能を数多く開発してきました。

- **Teams:** Box のお客様は、Teams のチャンネルやチャットから[直接](#) Box 上のコンテンツにアクセスしたり共有したりすることで、コラボレーションの効率化を図ることができます。
- **Word、PowerPoint、Excel:** ユーザーはウェブアプリ版、モバイル版、デスクトップ版、どの Box に保存された Word や Excel、PowerPoint のファイルでもリアルタイムで簡単にアクセスし、作成や編集、コラボレーションをすることが可能で、すべての編集は自動で Box に保存されます。



- **Outlook:** ユーザーは送信用の添付ファイルを Box 共有リンクに変換することで、メールの添付ファイルに伴うリスクや手間を排除し、どんなデバイスからでも受信された添付ファイルが Box に保存されるためバージョン管理を実現できます。

また、Box は、Box connector for Microsoft Graph による Teams 連携をはじめとし、Microsoft Copilot for Microsoft 365 との連携も予定しています。

価格と提供時期

Azure OpenAI Service との連携を含む Box AI は本日より利用可能です。Enterprise Plus プランを契約のすべてのお客様が含まれます。1 ユーザーあたり毎月 20 クエリーを利用でき、企業レベルではそれに加えて 2,000 クエリーを利用することが可能です。

連携に関する詳細は [Box ブログ](#) をご参照ください。Enterprise Plus プランを契約で Box AI の効果を試してみたいお客様は、Box 管理コンソールにアクセスすることで、簡単に利用を開始できます。詳しい手順については、[Box Community](#) もしくは Box AI に関する [ウェビナー](#) を活用ください。

Box について

コンテンツクラウドをリードする Box (NYSE: BOX) は、コンテンツのライフサイクル全体を管理し、場所を問わずセキュアな作業を実現する単一のプラットフォームで、ベスト・オブ・ブリードで多くのソリューションと統合しています。2005 年に設立され、アストラゼネカ、JLL、モルガン・スタンレーなどを含む大手グローバル企業や日本では約 17,000 社および日経 225 の 73% の企業の業務効率化を支援しています。Box は、カリフォルニア州レッドウッドシティーに本社を置き、米国、ヨーロッパ、アジアに拠点を持っています。

Box について、詳しくは <https://www.box.com/ja-jp/home> をご覧ください。株式会社 Box Japan は Box Inc. の日本法人です。

- ・Microsoft、Azure、Excel、Microsoft 365、Microsoft Teams、Outlook、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 Box Japan

広報担当：佐保

E-mail: msaho@box.com